A型肝炎ワクチン

知るべきこと

1 A型肝炎とは？

A型肝炎は、A型肝炎ウイルス(HAV)によって引き起こされる深刻な肝臓疾病です。HAVは、A型肝炎に感染している人の便の中にで見つかります。通常は感染者との接触で、時にはHAVに汚染されている食物や飲み水によっても広がります。

A型肝炎は以下の症状をおこします：
- 中度の“流感のような”症状
- 黄疸（黄色い皮膚あるいは目）
- 強い腹痛や下痢

A型肝炎に感染している人達はしばしば入院が必要です。稀に、A型肝炎で死亡する場合があります。

A型肝炎に感染している人は、同じ家庭内の他の人に病気を簡単に移してしまうことがあります。

A型肝炎ワクチンでA型肝炎を予防することができるのです。

2 A型肝炎ワクチンを受けるべき人と時期は？

- 2歳以上の人で、中央あるいは南アメリカ、カリブ諸島、メキシコ、アジア（日本を除く）、アフリカ、南あるいは東ヨーロッパのようなA型肝炎の疾病率が高い国に旅行あるいは勤務する人。旅行前の少なくとも一ヶ月前にワクチン接種を始めてください。
- 長期間に渡ってA型肝炎が発生しているコミュニティーに住んでいる人。
- A型肝炎の疾病率が高いコミュニティーに住んでいる人：例えば、アメリカ・インデアン、アラスカ原住民、太平洋諸島住民のコミュニティーやある宗教の共住団。
- 男性同士の性交渉がある人。
- ストリート・ドラッグを使用している人。
- 慢性の肝臓病を患っている人。
- 濃縮凝血因子を受けている人。

最低6ヶ月の間をあけて行われる二回のワクチン接種は、予防を有効にするのに必要です。

A型肝炎ワクチン接種を、他のワクチンと同時に与えられることがあります。

3 A型肝炎ワクチン接種を受けるべきではないあるいは接種を延期するべき人。

初回のA型肝炎ワクチン接種で重度のアレルギー反応があった人は、次回の接種を受けるべきではありません。

接種を予定された時点で軽度の病気に掛かっている人は、A型肝炎ワクチンの接種を受けるべきです。中度あるいは重度の病気に掛かっている人は通常回復するまで待ってください。貴方の医師あるいは看護婦に相談してください。

妊婦に対するA型肝炎ワクチン接種の安全性は、まだわかっていません。いずれにしても妊婦あるいは胎児に対する危険性は非常に低いと考えられています。

詳細につきましては、医師あるいは看護婦にお尋ねください。

4 A型肝炎ワクチンによりどんな危険性がありますか？

他の薬と同じように、ワクチンは重度のアレルギー反応のような深刻な副作用を引き起こす場合があります。後遺症あるいは死を引き起こすA型肝炎ワクチンの危険性はほとんどありません。

A型肝炎ワクチンを受けることは病気にかかるよりもずっと安全です。

中度の副作用

- 接種を受けた箇所が痛む（大人は2人に約1人、子供は5人に1人までの確率）
- 頭痛（大人は6人に約1人、子供は20人に1人の確率）
- 食欲減退（子供の12人に約1人の確率）
- 疲労感（大人の14人に約1人の確率）

以上の副作用がおこる場合は、通常接種後3-5日に生じ、1日あるいは2日続きます。

重度の問題

- 接種後数分から数時間以内に起こる深刻なアレルギー反応があります（非常に稀です）。

5 中度あるいは重度の反応がある場合にはどうしたらよいのでしょうか？

何に注意したらよいでしょうか？

高熱や様子に変化があるなど普通ではない健康状態がみられる場合。呼吸困難、声がかすれるまたはぜいぜいと息をする、発疹、青白い顔色、虚弱感、心拍が速くなる、フラフラするなどを含む深刻なアレルギー反応の症状。

何をするべきでしょうか？

- 大至急医師に連絡するか、医師を連れて行ってください。
- いつワクチンを受け、どんな症状がおこったか、症状が起こった時の日時を医師に報告してください。
- 医師、看護婦または保健局にワクチン災難報告用紙(VAERS)を提出するよう頼むか、またはご自身でVAERSまで**1-800-822-7967**へ電話してください。

6 どうしたらもっと知ることができるでしょう？

- 医師または看護婦に尋ねてください。ワクチン接種に関する印刷物または他の情報源について説明してくれます。
- 地域または州の保健局に電話してください。
  1-888-767-4687
- Centers for Disease Control and Prevention (CDC)(疾病コントロール及び予防センター)に連絡してください：
  - 電話**1-800-232-2522**（英語）
  - ナショナル免疫プログラムのウェブ・サイト http:/www.cdc.gov/nipあるいはCDCの肝炎のウェブ・サイト http://www.cdc.gov/ncidod/diseases/hepatitis/hepatitis.htmをご覧ください。

免疫グロブリン (IG)

免疫グロブリンは、A型肝炎に対して一時的な免疫を持ちます。

どのような人がIGを受けるべきでしょうか？
- HAVに感染した人で、その感染が2週間以内である場合にIGを受けることができます。
- A型肝炎ワクチン接種を受けていなくて、A型肝炎の発生率が高い地域に旅行する人。

いつIGを受けるべきでしょうか？
HAVに感染する前あるいは感染してから2週間以内。

効果
投与によって異なりますが、IGはHAVに対して3-5ヶ月有効です。

危険性
稀：腫れ、発疹、アレルギー反応。

DCH-0452J
AUTH: P.H.S., Act 42, Sect. 2126.

U.S. DEPARTMENT OF HEALTH & HUMAN SERVICES
Centers for Disease Control and Prevention
National Immunization Program

Vaccine Information Statement
Hepatitis A IMM 502 ML Japanese (8/25/98)
Translated by Transcend Translations, Davis, CA
http://www.transcend.net

正確な予防接種状況、予防接種についての評価、今後の予防接種の推奨スケジュールを医療提供者に提供するため、情報は Michigan Care Improvement Registry (ミシガン幼児予防接種記録所)に送られます。予防接種情報が同記録所に送られないよう医療提供者に要請できる権利が誰にでもあります。